

令和6年度 第5回 学校運営協議会会議録

学校名	杉森中学校
記録者	佐久間 ゆかり

開催日時	令和6年8月26日（月）13:30～
開催場所	杉森中学校 北校舎3階被服室、2階会議室
出席者（委員）	岡田会長、村上職務代理、朝枝委員、西野委員、三箇山委員、 福島委員（第一部のみ）、佐久間委員、
出席者（学校）	濱田副校長
傍聴者人数	0名

会議内容（次第順）	
第一部	CS交流研修会（CS委員、教職員、保護者による研修会） 於：被服室 テーマ「生徒の自己表現力を高めるために」
第二部	学校運営協議会 於：会議室 ・第3回議事録、配布物等の確認 学校運営協議会のアンケート集計結果報告と支出調査のお願い 青少年委員だより 杉森PTA広報誌 SUGINOMORI ・CS交流研修会の感想 ・その他報告等
主な意見	
<p>○CS交流研修会の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRの時間はあるが、学級内の問題や解決したいことなど生徒と話をする時間がなかなかとれない。教員も忙しく日常的に個々の生徒がクラスのことをどう考えているのかなど話を聞く時間がなかなか取れないことは重要な問題と考える。 ・自己表現力を高めるために教員や保護者、CSができる事は何かを話し合うことができた。「安心して発表できる環境をつくる（失敗も含め）」「発表したことに対してしっかり評価してあげる」「上手なプレゼンテーションの例などを見せる機会をつくる」「保護者はとにかく子供の話をきいて見守る」といった意見がでた。 ・語彙力が稚拙なので本を読むなどした方が良い。またSNSでの表現は得意なのにいざ人前に出ると表現できなくなってしまう。コロナ禍のせいもあるのか。自己表現する場を作っていきたい。 ・親しい仲間以外との交流は避けてもいい、というようなコロナの後遺症を感じる。学校だけでなく家庭内のタスクも多く、安心して話をできる環境が作れなかったり、他者に向かって話す経験を積む環境が作れていない。余裕がない、という意見があった。 ・学年が上がるにつれ自己表現力は上がっている、という教員の評価もあった。単語での会話が多く見受けられるので、自分の考えを論理立てて話すことが苦手のように見受けられる。体育科からは必ずしも言葉だけが自己表現の方法ではないので、体育祭や部活などでの練習や活動も自己表現のひとつという意見が出た。そういう場も作っていきたい。 ・「自己決定の機会を増やす」自分で考えて自分で決めて動く機会を増やしてみるのはいかがでしょうか。 ・子どもからの言葉を待てずについ親が先回りしてしまう、という保護者もいた。結果として自己表現の機会を失ってしまっている。 ・学級でのグループ活動などで、自分以外の誰かが発表したらそれで終了とするのではなく、生徒がそれぞれ自分事として考えて「自分でなんとかしなくては」という立場になったら変わっていくのではない 	

か。中学の3年間は、これから先の自分の進路を自分で考えていく力をつける3年間にできたらいいと考える。

・昨年と比較して先生方の発言が多くなってよかった。今後も回数を重ねていきたい。

【連絡事項等】

○コミ担による授業について 9月14日(土)

学級ごと数名ずつのコミ担に分かれ、3学級。各班で進め方を相談する。

具体的なテーマや方針については後ほど校長よりメールをおくる。

○今年度の学校運営協議会だよりの発行について

○PTAより夏休み企画#マイプレの報告

昨年に続き中学生の居場所として7月29日、8月22日23日に開催。自由に勉強したり体育室で汗を流したり、コマ取りアニメやダンス企画もあった。1年生の参加もありいい企画になっている。

○杉森中学校担当の青少年委員不在について

3月末で前任者が退任し、現在杉森中を担当する2名の青少年委員が不在。委員が担当する子促事業

「杉森祭」の予算がつかないため今年度はPTA会費から負担する予定でいる。

どなたか推薦してもらえないか。

次回の会議日程

日時

令和6年9月14日(土) 9:40~コミ担による授業

引き渡し訓練の後、11:10~ 第5回学校運営協議会

会場

杉森中学校